

## 事務事業評価票

担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター係	事務事業No.	131721
事務事業名	地域包括ケア実践事業			会計	一般会計
まちづくりのテーマ	第3 だれもが健康で安心して暮らせるまち			款	3 項 1 目 7
施策目標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進				
施策項目	地域福祉の推進				
前期計画掲載頁	65	頁	個別計画	第6期老人福祉計画	頁
事業期間	平成25年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 介護保険法

事業の目的	地域包括ケア体制の構築を計画的に推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来る体制づくりを行う。 ①地域の介護予防の推進 ②高齢者や認知症の人等を地域で支える体制の構築 ③介護予防生活支援サービスの開発								
事業内容	①たいそうサポーター及びボランティアの育成 ②高齢期の安心生活の推進 在宅医療の推進 ③生活支援サービスへの補助								
事業費	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度					
	総事業費（決算額）	1,950,080 円	676,223 円	743,682 円					
	財源内訳	国庫支出金	円	円	円				
		県支出金	400,000 円	円	円				
		起債	円	円	円				
		その他財源	1,550,080 円	676,223 円	743,682 円				
一般財源		0 円	0 円	0 円					
活動指標	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	前年度（H29） 目標値	達成率 （%）	次年度（H30） 目標値	
	① たいそうサポーター養成	講座（回数）	1（15）	1（9）		2（10）		1（10）	
	② 人材育成普及啓発講座	講座（回数）	3（37）	2（23）					
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	前年度（H29） 目標値	達成率 （%）	次年度（H30） 目標値
	① たいそうサポーター養成	修了者数		10	9	6	20	30.0%	5
	② 自主活動団体	育成団体			17	23	20	115.0%	25
	③ 介護予防手帳	配布数				428			500
	2. 数値で表せない効果	（成果指標③）介護予防手帳を本格的導入したことから各地区の公民館等で行う体操教室などへ出向き、利用方法の説明と併せて社会的な課題について話し、介護予防と地域の支え合いへの参加の話をする事が出来た。							

## 【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である			
点数	3	3	3	2	2	3		18		

## 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	人口減少、少子高齢化、働き担い手不足に対応できる地域整備と人材育成が喫緊の課題である。 ①H29年度よりたいそうサポーターに「おお！マーチde体操」やレクリエーションを行うボランティア活動を行い、活動の場を拡げてきている。今後は養成と共に活動の場を設定していくことが必要。 ②自主活動団体等、住んでいる地域を拠点とする住民主体の活動が地区によって温度差がある。
改善の方法等（上記の課題をふまえて30年度以降に実施する具体的な改善の内容）	①地域包括ケアシステムを推進するためには、介護予防や地域の助け合いに関心を持ち主体的に考えたり行動したりする人が多くいることが大切である。今後も変化していく社会に対応できるように講座の開催や、制度についての周知をしていく。 ②包括支援センターにより生活支援体制整備を推進する為、第2層の協議体の設置に向けての動きを活発化しているところ。多くの人に地域について関心を持ってもらい、状況を理解してもらえるように、住民はもちろん多種多様な分野に対し呼びかけを行い、一緒に考えていきたい。